

(電子版)



2022年 第31号 2022年 9月20日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



住民の声を聞き、みなさんと一緒にとりくみたい 交運共闘 日本共産党国土交通部会と懇談

交運共闘は9月5日、日本共産党国土交通部会の高橋千鶴子衆議院議員、田村智子参議院議員、秘書のみなさんと懇談を行いました。交運共闘から高城議長、光部事務局長、菊池幹事ら9人が参加しました。

交運共闘から11月10日に国交・厚労・経産省に提出する署名の要請項目を説明して、各組合が現在とりくんでいる重点課題を説明しました。

自交総連からは、①コロナの影響、②労働条件の悪化、③労働関係法令違反、過労死の多さ、④改善基準改正の状況、⑤新たな規制緩和の進行——について説明、政治の力で、労働者の救済、タクシー・バス事業へ援助が必要だと要請しました。

検数労連（港湾問題）、国土交通労組（運輸、航空行政の課題）からも説明があり、議員らと意見交換しました。

高橋衆議院議員は、「国土交通の課題は、有権者から支持を得ながら運動をすすめないといけない。地域交通の確保、JRの赤字路線廃止阻止、ライドシェア反対など大切だ。地域では、デマンド交通、乗合タクシー、コミュニティーバスなどの要望がたいへん多い。住民の声を聞いていく必要がある。交通の安全では、知床の事故でも、国交省の職員が少なく、検査などでも規制緩和をすすめている問題がある。国民に伝えて、みなさんと一緒にとりくんでいきたい」と述べました。

田村参議院議員は、「初めて国土交通委員になった。交通運輸の職場で、若い人が誇りをもって働けるようにならなければ人手不足は解消しない。政府はデジタル化で人手不足を解消しようとしているが、タクシーのソフトメーターなどは配車アプリのプラットフォームとの連携をつよめるために使われている。プラットフォームが支配的になれば、ウーバーのように労働条件劣悪化につながる。そういう分野も探求していきたい。現場の問題を教えてください」と述べました。

交運共闘と懇談する日本共産党国土交通部会の議員・秘書のみなさん。前列左・高橋千鶴子衆議院議員、右・田村智子参議院議員
=2022. 9. 5、衆議院第2議員会館

